

EASTICA第2回総会決議

マカオ、1995年12月5～7日

第2回ICA東アジア地域支部総会は、1995年12月5日から7日、マカオ文化協会の招待によりマカオで開催された。48名の出席者の討論により、以下の決議が採択された。

1. EASTICA 執行委員会メンバーの任期は、1997年秋の第3回 EASTICA 総会までとする。今回の総会において、新たに執行委員会メンバーに選出されたのは、香港档案処の朱（チュ）サイモン、日本国立公文書館長の稲橋一正、韓国政府記録保存所長の李秀起である。
2. 諸文書館、図書館および個人の EASTICA への参画を得てこそ、EASTICA は真に東アジア地域におけるその役割を果たすものとなろう。
3. EASTICA が東アジアにおいて周知されるため、EASTICA 事務局はできるだけ早く、EASTICA の活動を記し、入会申込み書を付したパンフレットを作成し、配布する。
4. 1997年春、香港で、文書館の記述標準に関するワークショップを開催するものとする。ICA に対しては、このワークショップに、アジア地域およびその他の地域から ICA の推薦する特別講師の派遣を行うことを期待する。
5. 1996年北京で開催される第13回 ICA 大会の会期中の9月2日（月）午前中、EASTICA 執行委員会および EASTICA 中間総会を開催するものとする。その時には、EASTICA 第3回総会およびワークショップの内容を決め、ICA が提示する戦略計画を検討し、合わせて EASTICA 名誉会員の称号授与を行う。
6. 第3回 EASTICA 総会は1997年秋に日本で開催する。第2回総会参加者は、日本の国立公文書館の好意ある招請に深甚の感謝を表明した。
7. 第2回 EASTICA 総会は、加盟各国／地域に対し、2国間および多国間の専門的な交流を奨励し、それにより、当該地域における文書および記録管理の強化を目指すため、2国間および多国間の専門的交流を奨励する。
8. 第13回 ICA 大会は、1996年、この種のものとしては初めてアジアの中国で開催される。総会は、EASTICA 加盟各国／地域に対し、より多くのアーキビスト、ライブラリアン、およびその他関連分野の人々の、大会への参加呼掛けを求める。
9. 総会は、マカオ文化協会、マリア・エレナ・エボラとマカオ歴史文書館による、EASTICA 第2回総会への暖かいもてなしと優れた準備に、深甚の感謝を表す。

(国際資料研究所・訳)